

CIGS エネルギー環境セミナー
「ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション
-半導体レーザーの技術進化の日米比較」

日 時 2018年2月13日(火) 15:30-17:00 (受付開始 15:00)
会 場 キヤノングローバル戦略研究所 会議室3
 (東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階)
講 師 清水 洋
 (一橋大学大学院 商学研究科 イノベーション研究センター 教授)
モデレーター 杉山 大志 (キヤノングローバル戦略研究所 上席研究員)
言 語 日本語

講演概要

「幹の太い」技術と、その「果実」の関係を探る。

さまざまな技術・製品に応用できる汎用性の高い技術=ジェネラル・パーパス・テクノロジーは、どのように生み出され進化していくのか。そのイノベーションのパターンにスピリアウトがどのような影響を及ぼすのか、日米半導体レーザーの発展プロセスから明らかにする。

プログラム

15:30-15:35	趣旨説明 芳川 恒志 (キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)
15:35-16:15	講 演 「ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション -半導体レーザーの技術進化の日米比較」 清水 洋
16:15-17:00	質疑応答と討論 モデレーター：杉山 大志

講師紹介

1973年横浜市生まれ。2007年ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカルサイエンス (Ph.D)。アイントホーヘン工科大学ポストドクトラルフェローを経て、2008年9月より一橋大学イノベーション研究センター専任講師。准教授を経て、2017年4月より現職。『ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション -- 半導体レーザーの技術進化の日米比較』にて、第59回日経・経済図書文化賞、第33回高宮賞を受賞。

主な日本語の著作：清水洋『ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション -- 半導体レーザーの技術進化の日米比較』有斐閣、2016年、米倉誠一郎・清水洋（編著）『オープン・イノベーションのマネジメント』有斐閣、2015年。

研究テーマ：

企業の競争戦略とイノベーションの関係を歴史的に分析しています。大きくは、(1)イノベーションにはどのようなパターンがあるのか、(2)イノベーションのパターンに影響を与えるのはどのような要因があるのか、(3)企業はイノベーションのパターンをどのように戦略的に活用できるのかの3点を中心に分析をしています。

最近の研究関心：

- 新製品開発におけるオープン・イノベーションのマネジメント
- 汎用性の高い技術(General Purpose Technology)におけるイノベーション
- アントレプレナーシップの国際比較